

(11)

(月ぎめ購読料1,800円うち消費税133円)・一部売り(税込み)80円 <第3種郵便物認可>

# 「和歌山の底力見せる」 インターハイ 県選手団の結団壮行式

7月下旬から中国地方で開かれる全国高校総合体育大会(インターハイ)を前に、県代表で出場する選手団の結団壮行式が12日、和歌山市のホテルであった。選手は「チーム和歌山」として、全力で臨むことを誓った。

「中国総体」は、各都道府県の高代表が中国5県などを会場に30競技で競う。総合開会式は28日に岡山市であり、サッカー競技は26日に始

まる。ヨット競技は和歌山市の和歌山セーリングセンターが会場になる。

県選手団は男子268選手、女子204選手、計472選手のほか、引率教員、監督らを含む総勢613人。

県高校体育連盟は、特に優勝や上位入賞が期待できる団体競技として、神島の少林寺拳法(男女)などを挙げる。

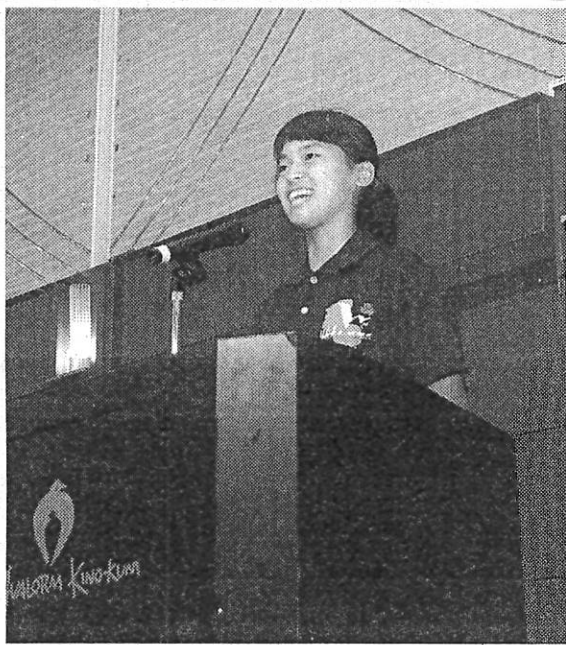
このほか、田辺工業の体操(男子)、田辺の登山(男女)、近大新宮の卓球(男子)も期待されるといふ。

個人ではカヌー男子に出場する神島の日下部公祐君、湯川翔太君、岡崎快理君、鈴木琢万君(いずれも3年)、卓球男子シングルスに出る近大新宮の和田翼君(3年)と三浦隆希君(2年)らの名前を挙げていた。

結団式では、選手団を代表し、フェンシングに出場する東莉央さん(和歌山北3年)が「誇りと感謝を胸に、各競技で優勝を目指し、最後まで全力で頑張る決意。チーム和歌山の底力を見せましょう」

と鼓舞。最後に「チーム和歌山、頑張るぞ」と拳を突き上げると、選手団全員が「おっ」と応じた。

県高校体育連盟の宮本和幸会長が「フェアプレーの精神を貫き、誇り高き和歌山県の選手として、大会に挑み、笑顔と努力の花を咲かせてください」とあいさつし、陸上競技に出場する旗手の阪上拓真君(開智3年)に連盟旗を手渡した。仁坂吉伸知事や浅井修一郎県議会議長も激励の言葉を述べた。



県選手団を代表し、意気込みを述べる東莉央さん(12日、和歌山市で)